

団塊の楽園



著者：大阪商大&博報堂エルダー・カジノ研究会

刊行：2007年2月

出版社：弘文堂

定価：本体1900円+税

<目次>

序章 団塊世代が開く扉

I. 新しい「大人」

II. 理想のコミュニティ

III. 「新しい大人文化」都市

IV. 団塊のための新しい「コミュニティ」

(リゾートタウン型・都市部共生型・団塊理想郷型
・田園帰農型・エンタテインメント型)

V. 幸せな人生

終章 素敵な生き方

2007年、団塊の世代がリタイアをはじめました。彼らが創り出す可能性をもった「新しい大人文化」。そのベースとなるのは、「新しい大人のライフスタイル」です。

かつて、若者文化を創り出した団塊世代は、また新しい文化とスタイルを生み出そうとしています。

団塊世代はつとにバラバラといわれます。また、団塊男性では「田舎暮らし」が語られ、団塊女性では「都会生活」が望まれています。どちらを選択するにせよ、それは、日本に多様な大人のライフスタイルが生まれることを示唆しています。

また、リタイアをする彼らは必然的に「コミュニティ」に入ることになります。すでに、地域活動を熱心にはじめた団塊の世代もいます。こうした団塊の世代特有の「熱さ」が、地域のコミュニティづくりと新しいライフスタイルづくりに活かされる可能性があります。

本書では、その可能性を彼らの生活意識から探り、具体的なモデルとバリエーションを事例を含めて紹介します。大阪商大の学識経験者と博報堂のエルダーとカジノの研究会がワークショップを重ねたその成果です。「遊び感覚」を持った団塊世代は新たなコミュニティを全国各地に創り出す可能性を秘めているのです。

【博報堂エルダー&カジノ研究会】

博報堂エルダービジネス推進室(※)とカジノ・エンタテインメントプロジェクトが、団塊世代のリタイアも視野に入れ、これからの高齢化社会における医療・文化などを含む地域開発とそこにおけるカジノ・エンタテインメントの有効活用を検討するために設けた研究会。2005年春より活動開始。

【※博報堂エルダービジネス推進室】

博報堂社内のエルダー関連業務を担当する組織を一本化し、得意先ニーズへの積極対応を推進する目的で2000年6月に新設された組織です。

同室では50歳以上の生活者を「エルダー」と規定。個別商品のコミュニケーション戦略策定からエルダー生活者の調査・研究活動全般まで幅広く対応することで、高齢化社会がもたらす様々な社会課題等にトータルソリューションを提供する体制を整備しております。

博報堂エルダービジネス推進室の
Webサイト

HOPE

Health, Opportunity and
Participation for Elders

<http://www.h-hope.net/>



読みやすさを追求した書体を使用